

議事1.(3) 救出・救助の活動

【概 要】 期間:7月6日～12日

活動実績	数 値
活動分団数	21分団
活動車両数	(延)133台
活動団員数	(延)822人
救出及び避難誘導人員	308人

大雨に関する警報等		※【】内は主な避難対応
7月 6日 (満潮9:28)	10:16 11:26 13:40 15:25 16:30	○大雨警報発表 (満潮9:28) ○洪水警報発表 ○土砂災害警戒情報発表 【避難勧告発令】 ◎大雨特別警報発表 【避難指示発令】 (満潮22:32)
7月 7日	11:40	●大雨特別警報解除
7月 8日	4:25 13:10 13:45 23:17	●洪水警報解除 ●土砂災害警戒情報解除 ●大雨警報解除 ○大雨警報発表 (満潮23:37)
7月 9日	13:45	○土砂災害警戒情報発表
7月10日	14:15 14:20	○洪水警報発表 (満潮11:48) 【みなと校区 避難指示】 【指定校区以外避難勧告】
7月11日	4:46 9:20 9:40	●洪水警報解除 ●土砂災害警戒情報解除 【避難指示解除】
7月12日	15:03	●大雨警報解除 【避難勧告解除】
7月13日	17:00 23:37	【避難勧告発令】 ○大雨警報発表
7月14日	10:54	●大雨警報解除

主な活動
○警戒活動：警戒巡視(冠水、土砂崩れ調査等) 河川監視、水位調査 ○各種広報：避難所開設広報 ○避難誘導：介添え等による避難誘導 ○救助活動：自主避難できない方の救出 ○その他の活動：安否確認、油漏れ処理 ガスボンベ漏洩対応 自火報調査、その他

活動人員、車両			
期 日	時 間	(延)人員	(延)車両
7月6日 ～8日	13:00(6日) ～1:00(8日)	592	80
7月9日	14:50～19:30	124	29
7月10日 ～11日	14:00 ～1:00(11日)	95	22
7月11日	18:00～24:00	11	2
合 計		822	133

活動内容

【主な動き】 ※詳細は別紙 資料①参照

- 7月 6日 13時30分より、避難所開設に伴う広報実施
14時00分より、広報及び警戒巡視による被害状況調査
16時00分より、警戒巡視、河川監視、水位調査、避難誘導、安否確認
- 7月 7日 6時00分より、警戒巡視(冠水、土砂崩れ調査)、避難誘導(救助活動含)
油漏れ処理、ガスボンベ漏えい対応、安否確認
22時30分より、警戒巡視(道路冠水調査)、河川監視、水位調査
- 7月 9日 14時50分より、避難所開設広報(市内全域)
- 7月10日 14時00分より、避難所開設広報及び警戒巡視(道路冠水調査等)
- 7月11日 19時00分より、警戒巡視(道路冠水調査等)

【活動実績】 ※詳細は別紙 資料②参照

- 避難誘導(救助含む)人数 308名

【被害状況報告】 画像、位置情報34件

消防団活動経過等（期間:7月6日～12日）				【資料①】	
日	時間	警報等	活動内容	活動人員	車両台数
6日	10:16	大雨警報発表			
	13:00		【団本部】団本部参集 【各分団】 ・警戒巡視(冠水、土砂崩れ調査等含) ・河川監視、水位調査 ・避難所開設広報 ・避難誘導 ・救助活動 ・安否確認 ・油漏れ処理 ・ガスボンベ漏えい対応等	305名	43台
	16:30	大雨特別警報発表			
7日	2:20			138名	20台
	11:40	大雨特別警報解除			
	15:30		【団本部】解散 【各分団】各分団自宅待機		
	22:00		【団本部】団本部参集 【各分団】 ・河川監視、水位調査 ・警戒巡視(道路冠水調査)	149名	17台
8日	1:00		【団本部】解散 【各分団】各分団自宅待機		
	13:45	大雨警報解除			

日	時間	警報等	活動内容	延べ人員	車両台数
8日	23:17	大雨警報発表			
9日	14:50		【団本部】団本部参集 【各分団】 ・避難所開設広報(市内全域)	124名	29台
	19:30		【団本部】団本部解散 【各分団】全分団自宅待機		
10日	14:00		【団本部】団本部参集 【各分団】 ・避難所開設広報	93名	22台
	14:15	洪水警報発表	・警戒巡視(道路冠水調査等)		
	18:00		【団本部】団本部解散 【各分団】全分団自宅待機		
	21:00		【団本部】団本部参集	2名	0台
11日	1:00		【団本部】団本部解散	11名	2台
	18:00		【団本部】団本部参集 【各分団】指定分団 ・警戒巡視(道路冠水調査等)		
	24:00		【団本部】団本部解散 【各分団】自宅待機		
12日	15:03	大雨警報解除			

【各分団の救出・避難誘導等人員調べ】(7月6日～8日分)

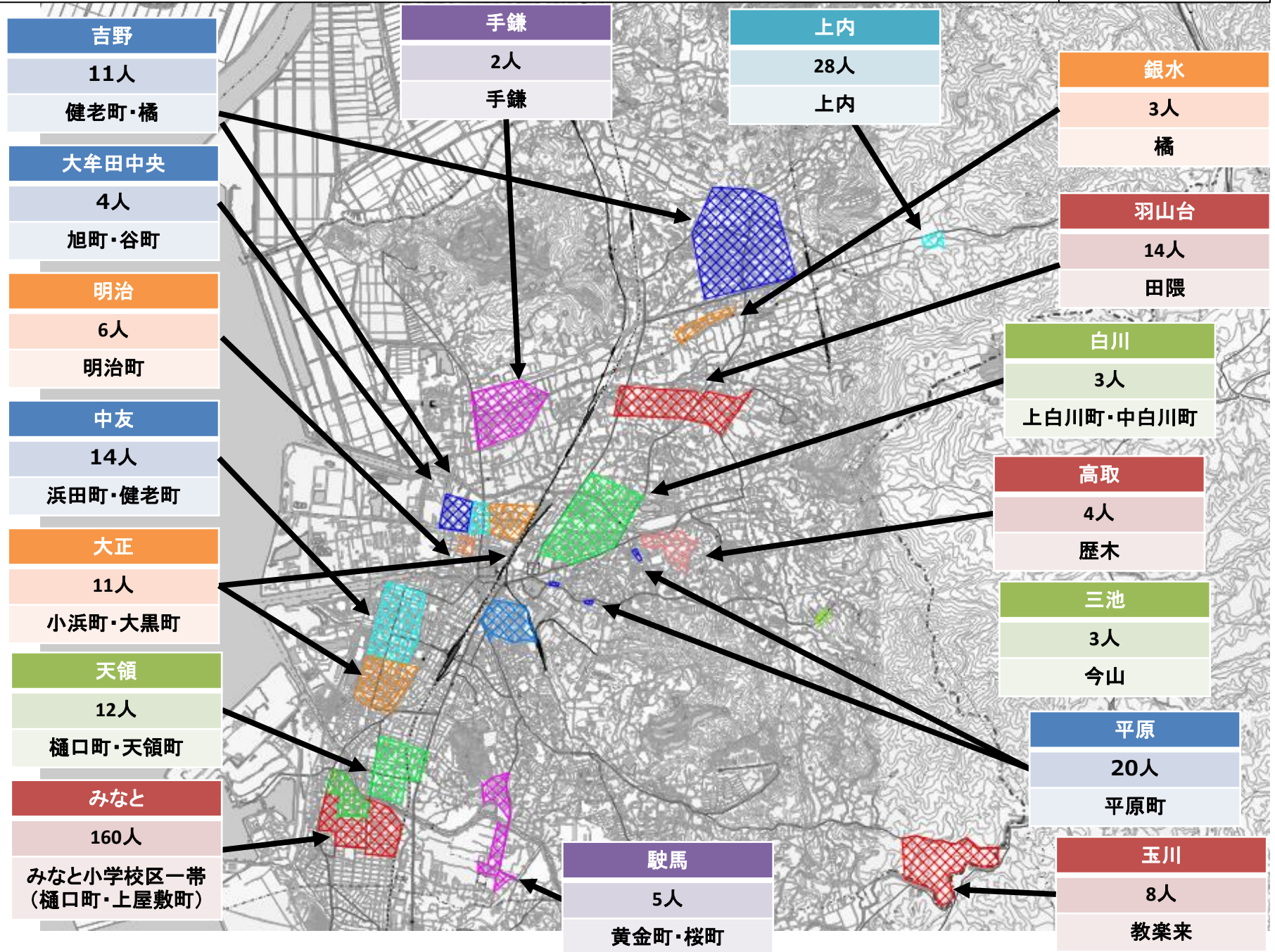
【資料②】

No	分団名	活動場所	救出人員
1	上内分団	上内	28人
2	吉野分団	橘、健老町	11人
3	銀水分団	橘	3人
4	明治分団	明治町	6人
5	中友分団	浜田町 健老町	14人
6	大牟田 中央分団	旭町、谷町	4人
7	大正分団	小浜町 大黒町	11人
8	手鎌分団	手鎌	2人
9	平原分団	平原町	20人

No	分団名	活動場所	救出人員
10	白川分団	上白川町 中白川町	3人
11	羽山台 分団	田隈	14人
12	三池分団	今山	3人
13	高取分団	歴木	4人
14	みなと 分団	校区一帯 樋口、上屋敷	160人
15	天領分団	天領町 樋口町	12人
16	駿馬分団	黄金町 桜町	5人
17	玉川分団	教楽来	8人
合 計			308人

【各分団の救出・避難誘導等人員】

合計308人



消防団の活動記録等（課題と対策）

○機動力の確保

道路冠水により消防自動車の水没し救出現場に到達できない事案が発生した。
（対策）

各車両の走行限界となる水深を確認するための目印をつけた棒等を車両に積載する検討を行っている。

○通信手段の多重化

胸まで浸かったの活動や大雨により、通信手段として各分団に配置している簡易デジタル無線が水没し、情報伝達に支障をきたした。
（対策）

分団長の理解と協力により私用のスマートフォンを通信手段の一つとして活用することとしている。

○救出手段の強化

人命危険に至る程の浸水深に達した冠水地帯が市内至る所に発生し、最も安全に救出可能なボート並びに救命胴衣が不足した。
（対策）

ボートを消防団本部と浸水が想定されるエリアを管轄する消防団格納庫12か所に配備する。また、要救助者用の救命胴衣を配備する。

○ 即時対応力の強化

平日の昼間帯での災害対応については、団員参集に時間を要するとともに、参集者も少ない傾向にある。団員の就業形態では、被雇用者が最も多く、勤務地や業務内容によっては、非常時の参集や活動に影響を及ぼしており、長期的な課題である。

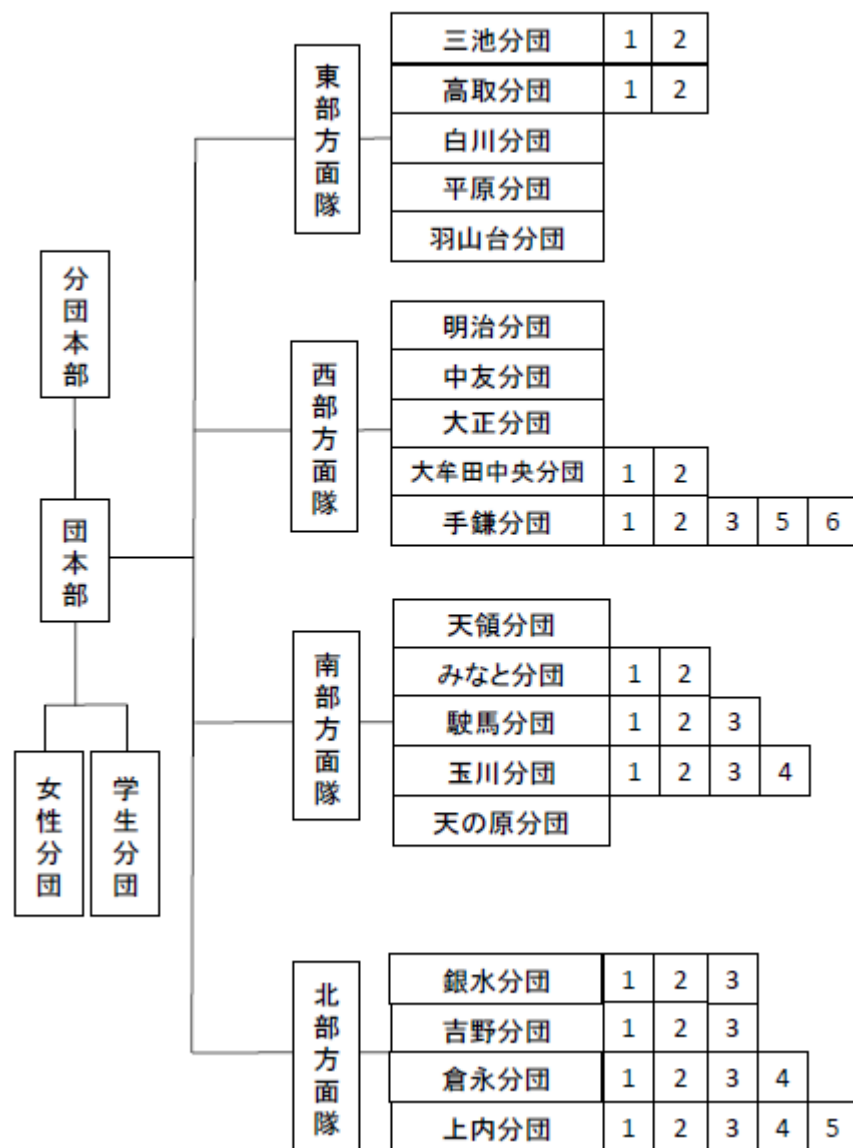
(対策)

平日昼間帯にも対応できる団員を把握し、有事の際の部隊編成などを検討する。また、平成26年度から消防団協力事業所表示制度の運用を行っており、今後も事業所への消防団活動の理解と協力の推進を図っていく。

【消防団組織概要】

組織	分団数		22	分団
	(内)機能別分団数		1	分団
	方面隊数		4	隊
団員数	条例定数		700	人
	実員数		700	人
	内	男性団員数	668	人
		女性団員数	32	人
	基本団員数		643	人
	機能別団員数		57	人
就業形態別団員数	被雇用者		499	人
	自営業者		126	人
	家族従業者		30	人
	学生		18	人
	内	大学生	14	人
		専門学校生	4	人
	その他		27	人

【組織概要図】



大牟田市消防本部・消防団配置状況

